

令和4年度

# 予算編成に関する申し入れ書

三田市議会「市民の会」

令和3年10月20日

三田市長

森 哲男 様

三田市議会市民の会

檜田 充

美藤和広

肥後淳三

## 令和4年度三田市予算編成に関する申し入れ書

森哲男市長におかれましては、昨年度より続く新型コロナウイルス感染症の拡大による、社会の変化等が生じる中、11万市民の福祉向上と安全安心のまちづくりに向け、ご尽力されていますことに敬意を表します。

しかしながら、急激な人口減少・少子高齢化時代をむかえ、本市も国の医療制度改革に対応する「市民病院」のあり方、子どもの減少による「学校・幼稚園」の適正規模・適正配置、ニュータウン開発による行政需要の増加に伴い整備された公共施設の老朽化による見直し等大きな課題を抱えています。ひとつひとつの課題に正面から向き合い、市民にしっかりと説明し、理解を得て解決していかねばなりません。

私ども、「市民の会」では、「市民だれもが安全で安心な社会の実現」を心から願い、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとし、人と人との結びつきによる安心の地域づくり、将来の社会基盤の根幹となる少子高齢化対策をはじめ、介護基盤の充実、障害者・高齢者の生きがい対策など健康福祉社会の実現、産業の活性化、雇用対策の充実、地域・学校の安全確保、新たな特色ある三田の教育の推進、さらにはインフラや公共施設のマネジメント、クリーンセンターの施設更新、三田の魅力を生かした情報発信等市政全般に渡る申し入れ項目を取りまとめました。

森市長には二期目3年目となる令和4年度当初の予算編成にあたり強力なリーダーシップを発揮され、市民誰もが願う「人口減少に負けないまちづくり」に向けた、力強い予算となりますよう強く要望いたします。

# 市民の会予算要望書

## 新型コロナウイルス感染症対策

番号	内容	提案年度	種別
1	国・県と連携した情報の把握と市内状況の収集と適切な時期・内容による市民への周知	R2	継続
2	正しい情報の発信による医療者・感染者・関係者への風評被害の防止	R2	継続
3	検査体制の確立と整備	R2	継続
4	市民病院をはじめとする医療体制の確立と維持	R2	継続
5	感染者の受け入れ態勢の整備・維持	R2	継続
6	子どもの安全確保に向けた取り組み	R2	継続
7	ステイホームの影響による高齢者のケア	R2	継続
8	医療控えによる医療機関の経営状況の確認と支援策	R2	継続
9	障害者や高齢者の感染予防と感染時の対応	R2	継続
10	既に実施した対策の検証と、より有効な対策の立案と実施	R2	継続
11	治療薬の充実と普及	R3	新規
12	市内経済状況の把握を行い、的確な時期でエール基金を活用した支援を実施	R3	新規
13	勤労者の労働環境の状況把握と緊急雇用対策	R2	継続
14	テレワークや在宅勤務での課題分析と精神的支援	R2	継続

## 市長公室、危機管理、経営管理（行政管理・財務・歳入推進）

番号	内容	提案年度	種別
1	森市長が掲げる「人口減少にも負けないまち三田」の実現を目指すこと。 ①市民に寄り添い、職員とともに事業推進する市組織の構築・強化を図ること。 ②情報資産のセキュリティ対策を一層強化すること ③行財政構造改革の推進により健全財政を維持すること	H27 /R1	継続
2	第5次総合計画に向け、人口減少要因を明確にした分析に基づき、人口計画を策定すること。	R2	強化
3	市民との双方向情報発信による広報広聴のあり方の研修と刷新。スマホ利用世代と紙世代の2重化を考慮しながら、市民発信を図ること。	R2	継続
4	産官学地域連携とUIターン促進事業を活発に事業展開し、若者の転入を図ること。	R2	継続
5	学生のまちづくり活動を活性化し、サンタ×三田プロジェクトなど、学生主体となったシテプロモーションを図ること。	H30 /R2	継続
6	若い勤労者が三田に住みやすい環境を支援すること。	H28	継続
7	市民病院の改革において将来の医療需要を鑑み、地域の中核病院かつ高度な専門医療と救急医療を中心とした急性期病院として、住民に安心・安全な医療提供体制を確保すること。	H30	継続
8	北神・三田急性期医療連携を密にし、小児救急をはじめ安心を確保すること。	R2	継続
9	持続可能な安心医療を提供できる医療施設の構築に向け、再編統合を速やかに図るとともに、市民への説明と安心できる未来図を示すこと。	R2	継続
10	再編・統合される市民病院の建設地を三田市内に誘致すること。 (例えば、カルチャータウン企業庁所有の太陽光発電施設用地など)	R3	新規
11	大規模災害に対応した防災体制の確立と、市民の安心安全確保に向けた情報管制と情報伝達の諸施策に積極的に取り組むこと。	H23	継続
12	近年の暴風や豪雨を想定をした、建築物や排水路等インフラ整備にかかる規格の見直しを図ること	R1	強化
13	武庫川の決壊や緊急放流の影響を考慮したガイドライン構築を図ること。	R1	継続
14	公共施設マネジメントにおいて、市民に提供する施設サービスの水準を維持し、適正な配置を進めると共に地域の願いを反映するよう努められたい。 コストと年度間平準化を考慮しながら、個別施設計画の策定と進捗管理を図ること。	H27 /R1	継続
15	子どもたちの遊び場(スケートボード、ボール遊び、モトクロス等)について、公共資産(施設・未利用地)の活用を図ること。	R3	新規
16	各種団体への補助金・負担金の使途・効果を把握し、見直しを進めること。併せて、加入団体分担金・負担金も必要性等を見極め、見直しを実現すること。	H23	継続
17	防犯カメラの設置・運用を検証し、さらなる地域防犯活動を積極的に支援すること。	H30	継続

18	働き方改革の推進を図ること。 ①情報共有の推進と、議会提出を含め、庁内書式・様式の統一 ②AIを含むICT化促進により、作業効率と業務効率化の仕組み ③窓口キャッシュレスによる現金管理の撲滅 ④電子決裁に向けた業務フローの確立 ⑤時差出勤やフレックスタイムの有効活用と時間外勤務の縮減 ⑥会議の効率化・適正化 ⑦オープンデータへの取組 ⑧市民センター間のWeb会議	H27 /R1 /R2 /R3	強化
19	情報公開の徹底を図ること。	H23	継続
20	情報化時代を鑑み、情報化計画の策定と5Gに向けた高速無線通信の早期実現を図ること。また、庁内等の市民向けWiFi設備の充実を図ること。	H30 /R1/R3	強化
21	庁内ネットワークのみ直しとセキュリティの強化を図ること。	R2	継続
22	研修制度の充実による職員のスキルアップとモラルの向上及びメンタル等の健康管理を図ること。	H23	継続
23	国・県情報を先取りし、徹底した財政縮減と税収納の強化を図ること。	R2	継続

## 地域創生（市民協働・産業戦略）

番号	内容	提案年度	種別
1	市民センターの運用について、効率化を図ると共に、地域活動を支援するよう努められたい。P.2 16-⑧にも掲載したように地域担当者間のWeb会議を行えるようにする。	H27	継続
2	地域担当及びサポート職員を活かし、まちづくり協議会の活用と地域課題の集約・解決に努め、市からの権限と財源の委譲を図ること。	H24 /R1	継続
3	市民センター内に窓口業務の配置とWeb会議機能の拡充及び対応職員の養成。	R2	継続
4	（仮）コミュニティ条例で自治会やまちづくり協議会の位置づけを明確化するとともに併せて各区、自治会への加入促進と加入メリットについても整理すること。	R2/R3	継続
5	包括交付金については、地域性に鑑み時間をかけて慎重に検討すること。	R3	新規
6	自主防災会のあり方については、（仮）コミュニティ条例の策定時に強制加入について検討すること。	R3	新規
7	市民を中心とした国際交流の推進に努めること。また、姉妹都市連携の見直しと、市内在住外国人への日本語サロンなど連携強化を図ること。	R2	強化
8	産学官連携協定に基づくインキュベーション施設等の建設に伴い、住民の意見等を聞くとともに大学と情報共有し、まちの再生を図ること。	R3	新規
9	いきがい応援プラザの一層の周知を図るとともに、退職後の「就労」「大人の居場所づくり」を積極的に推進すること。	H23	継続
10	特殊詐欺や違法販売など多様化する状況に市として情報支援強化を図ること。	R2	継続
11	図書館の市民サービス向上を図るとともに、自主事業を促進し、図書館を活かした運営を目指すこと。	H29	継続
12	国体開催基準要項細則第2項に規定する施設基準及び各競技規則に基づいた大会誘致可能な体育館及び陸上競技場の整備を図ること。	H25	継続
13	マイナンバーカードの一層の普及と市独自サービスの一層の充実を図ること。	H29 /R2	強化
14	デジタル技術の進展に伴い、市民センターや総合文化センターの予約システムを共有化し統一した申請で実施できるよう利便性を図ること。	R3	新規
15	三田市内のテニスコートの全面張替を年度別計画により、実施すること。	R3	新規
16	スポーツ施設の季節別利用時間を市民ニーズに合わせて見直すこと。	R3	新規
17	観光協会や関係団体と連携し、観光資源を活かした三田名物・土産物開発支援による商業の活性化と物産販売・駐車場環境を整え、観光振興を図ること。	H28	継続
18	三田の歴史、自然、農業、ニュータウン、ゴルフ場など三田の魅力を生かしたまちづくりによって観光客や住民を誘致し、三田市の活性化に努めること。	H23	継続
19	三田牛等全国に誇る特産品の発掘とブランド化により振興、流通に努めること。		継続
20	産業創造戦略に基づく地域産業の振興と活性化を図ること	H26	継続
21	第2テクノパークのほぼ完売を受ける中、第3テクノパークを含めて、市内における雇用創出と若者の就労定着を目指すこと。併せて、市内中小企業対策も充実すること。	H30	継続
22	インキュベーション施設との連携で、三田の若者が起業できる環境整備すること。	R3	新規

23	障害者雇用の実態を把握すると共に、三田市が率先して障害者の能力・実態に合った雇用の確保、及び企業への法的雇用率達成を目指すよう指導・監督し、障害者が働きやすい環境をつくること。	H30	継続
24	介護事業所の雇用の確保と介護士等の処遇改善のために、市の独自の施策を実施すること。	R3	新規
25	産業・労働政策推進の観点から、労働団体との定期的な懇談の場を設定すること。	H26	継続
26	三田・新三田駅前の活性化において、学生や若者、ファミリー等が余暇を楽しみ、幅広く交流の場として、アミューズメント施設等の設置など、人が集う活気あるまちづくりに向け検討すること。	H26	継続
27	地場産レストランの実現を目指すとともに、農業振興を図り、安心安全・良質な農産物を生産し、地産地消を推進すること。		継続
28	年々増加する有害鳥獣の根本的防止策を検討し、猟師の育成強化を含め対処すること。		継続
29	捕獲した鹿やイノシシについては、ジビエ料理に活用することができるよう施設整備を図ること。	R3	新規
30	既存商店街のあり方を見直し、将来に向けた取り組みを図ること。	H28	継続
31	商工会への産業活性化施策については、公平性を担保し、商工会員以外へも周知するなど取り組みを行うこと。	R3	新規



## 子ども・未来(子ども未来・子育て応援)、福祉共生(共生社会推進・健康推進)

番号	内容	提案年度	種別
1	市民だれもが安心して子育てができるまちづくりを進めること。	H26	継続
2	子どもの居場所と居場所づくりとしての子ども食堂の整備を図ること。	R1	継続
3	放課後児童クラブの安全と安定的な運営を図ること。	R1	継続
4	保育無償化に対応し、待機児童ゼロを目指し、認定こども園(市立)を含む施設整備を図ること。	R1	継続
5	青少年の健やかな成長に悪影響を及ぼす有害環境(ネットを含む)の点検及び青少年育成活動を充実すること。	R1	継続
6	市民の命と健康を守るため、地域医療連携の強化を図ること。	H29	継続
7	介護保険制度の不安を払拭し、市民だれもが安心して暮らせるまちづくりに努めること。	H26	継続
8	社会福祉協議会の情報公開と人材育成を進め、全ての市民の理解と自立に向けた取り組みを進めること。		継続
9	社会福祉協議会の会費制度のあり方については、制度疲労を起こしている。市民に公平感のある制度への転換など国に対して法改正などの申し入れを行うこと。	R3	新規
10	人権尊重のまちづくりについて、今までのとりくみをさらに強化し、人権研修・啓発を図ること。	H23	継続
11	人権教育推進事業について市民の理解が得られるよう努められたい。	H29	継続
12	仮称)三田市人と人との共生条例の制定と市民への周知・定着を図ること。	R2	継続
13	障害を持つ人が安心して暮らせるよう、「就労」「外出」等障害者福祉の向上に努めること。		継続
14	障害者支援において保護者の高齢化対策と亡き後の生活支援体制の確立を図ること。	R2	継続
15	生活介護施設や重度障害が療育出来る放課後デイサービスなどニーズの把握を的確に行ない、障害者(児)の希望に添えるようにすること。	R3	新規
16	障害者、特に視覚・聴覚障害のコミュニケーション支援の充実を図ること。	H27	継続
17	福祉に関する相談窓口担当者のスキルアップを図ることともに、得た情報に対応できる環境の整備と充実を図ること。	H30	継続
18	軽度認知症の早期発見の強化と治療環境の整備・充実と地域ぐるみの支援策を図ること。	H29 /R1	継続
19	免許返納を推進できる高齢者の外出支援策を充実させること。また、高齢運転者の安全対策支援を図ること。	H23 /R1	継続
20	高齢者の自立支援として、「健康スケール」など元気な高齢者に向けた「健康づくり」など支援策を充実させること。	H23 /R1	継続
21	小児救急医療体制の充実に努めること。	H26	継続
22	児童生徒支援加配教員の増員と研修の充実を図ること。	H23	継続
23	ゆりのき台に新設される保育所の開設にあたり、周辺交通の安全を確保すること。	R2	継続



## まちの再生(都市政策・地域整備・環境共生)

番号	内容	提案年度	種別
1	三田駅前Cブロックの再開発について、事業完遂に向け、積極的な支援を行うこと。	H26	継続
2	JR新三田駅周辺の利用者の利便性向上に向けた見直しを図ること。	R2	継続
3	JR新三田以北の沿線利用者の利便性向上に向けて、通勤・通学時間帯の増便と共に、新駅設置を含めた駅ターミナルの拡大・充実を図ること。	H24/R1	継続
4	JR駅周辺の狭隘道路については、緊急車両の進入に対応できるよう拡幅を図ること。	H27	継続
5	相野駅周辺の整備事業を早期に実現すること。併せて広野駅、三田駅北側周辺地区についても早期の対応を図ること。	H24	継続
6	相野駅周辺の整備については、長年の住民の悲願であり、早期の完成に向け、県・国への要望を強化するとともに、地元対策についても十分な対応をすること。	H26	継続
7	神鉄各駅周辺の社会変化に伴うロータリーをはじめ抜本的見直しを図ること。	R2	継続
8	神鉄公園都市線の延伸等の調査研究を行なうこと。	R2	継続
9	三田駅～カルチャータウン、テクノパークへのLRT化について高校や大学の通学、会社への通勤向上等地域公共交通をまちづくりの中心に据えて検討すること。	R3	新規
10	地域公共交通活性化協議会を活用し、ゼロカーボンシティ宣言に鑑み、地域特性に応じた地域公共交通網(新交通システム)の実現を促進すること。	H28/R3	強化
11	ウッドタウンの商業集積エリアの特性を活かした新交通システムの事業化を国の交付金を活用して実行すること。	R3	新規
12	鉄道交通の整備と見直しによる安価・安心・安定な交通を図ること。	R1	継続
13	バスの拠点を整備し、地域コミュニティ交通のモデル地域を設定し、早期整備を図ること。(特に、コミュニティバスとスクールバスの時間差による一体的運用等)	R1	継続
14	ノンステップバスの計画的な導入をバス運行会社と協議し進めること	R3	新規
15	三田駅から市役所、総合文化センター等シビックゾーンへは、自動運転バス等でアクセス強化を行い、車で移動させる政策からの転換を図ること。	R3	新規
16	主要道路については拡幅、歩道整備を含め、交通安全対策の充実を図ること。(自転車通学への配慮、ロードミラー、横断歩道、及び信号機の設置)		継続
17	街路樹等植栽について、樹木種や間引きも含めてあり方を見直し、安全の確保、環境美化を図ること。	H25/R2	継続
18	土地利用について、都市計画の見直しも含め最大限の努力をされたい。	H26	継続
19	空き地空き家対策をまちづくりの課題として、対応策の積極的な推進を図ること。また、雑草など近隣地への迷惑を配慮し、対策を講じること。	H24/R2	継続
20	市街化調整区域の抜本的な見直しと区域内の弾力的運用を図り活性化を図ること。	R3	新規
21	市民の健康づくりの施設や競技用施設の整備・維持を効率的に行うこと。また、体育館の冷暖房設備設置を図るとともに、熱中症などの安全対策を徹底すること。	H24	継続
22	街区公園の管理においては、まちづくり協議会等地域への委託を図ること。また、刈草の効率的な処理方法を検討すること。	H28/R1	継続
23	道路や公園危険箇所情報提供者には、協力してもらった市民に対して地域で利用できるポイント付与制度を検討すること。	R3	新規
24	道路施設や公園遊具施設については、近年老朽化が進んでいることから点検のあり方を見直し市民が安心・安全に利用できるようにすること。	R3	新規
25	市内の公共施設、歩道・自転車道等雑草除草についてアドプト制度による市民との協働の取り組みを検討すること。	R3	新規
26	平谷川緑地など身近な都市公園を整備し、憩いのあるニュータウンとすること。	R2	継続
27	安定した電力供給にむけた、先進的な取り組みを研究すること。	H24	継続
28	循環型社会実現のための環境マネジメントに対し、系統的に追求するとともに、市民に十分説明責任を果たし、市民が主体的に活動できる環境を整備すること。	R1	継続
29	太陽光発電設備の設置規制に基づき市民のと安全を確保すること。		継続

30	不法投棄ゼロに向けた対策の構築と実現を図ること。	R1	継続
31	聖苑・霊苑については、将来を見据え、効率的な運営を図ること。		継続
32	野外焼却については、刈草回収の試行を検証し、意見を尊重して市民誰もが理解できる施策を講じること。	H30/R1	継続
33	近年の風水害を考え、里山の整備と樹木の管理を行なうこと。	R1	継続
34	クリーンセンターの施設更新に当たっては、熱エネルギー等の活用について、三田にふさわしい農産物の研究にも使えるよう取組むこと。	H28/R3	強化

## 上下水道

番号	内容	提案年度	種別
1	安全・清浄にして豊富・低廉な浄水の供給に努めること。		継続
2	効率的経営により料金の長期安定化を図ること。		継続
3	市民が納得でき、経営として成り立つ料金体系の確立と運営。		継続
4	経営形態も含め今後の在り方を検討すること。	H30	継続
5	公共下水道事業に対し、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、コミュニティプラント事業の運用に関し、将来を見据え、合併浄化槽等への切り替えを含めた、検討を図ること。	R1	継続
6	老朽化した水管(橋)などの点検などを実効性のあるマニュアルに基づいて確実にを行い、市民生活に支障がでないように努めること。	R3	新規
7	災害に強い配水管及び下水管、雨水管の敷設を進めること。	R3	新規

## 会計・行政委員会

番号	内容	提案年度	種別
1	現金レス収納の推進	R2	継続
2	各委員会の活動の見える化	R2	継続
3	選挙管理委員会の作業の見直しによる簡素化や申請書類の電子化を推進すること	R2/R3	強化
4	スムーズな開票作業とタイムリーな情報提供	R2	継続

## 教育委員会

番号	内容	提案年度	種別
1	通学・通園を含め、学校・園の安全対策に万全を期すこと。 また、自転車の安全運転支援と、自転車保険の加入促進に努めること。	H27/R1	継続
2	学校行事、出張、各種研究の精選、人的配置等により、教職員の多忙化解消・心のケアに努め、労働安全衛生法に基づく適切な勤務環境への改善に努めること。		継続
3	「ひまわり特別支援学校」の充実を図るとともに、地域校についても、引き続きバリアフリー化等施設設備の充実、人的配置、通学支援等について考慮すること。	H26	継続
4	特別支援学級については、個々の子供に対応した指導ができるよう、定数改善を国に対して働きかけること。	R3	新規
5	個々の子どもに応じたきめ細かい教育の実現に向け、さらなる少人数学級を推進すること。また、学校現場の実情に応じ、教職員の増員を図ること。	H26	継続
6	カウンセリングを必要とする児童・生徒が増加していることから、スクールカウンセラーを全校配置し、心のケアを充実すること。	H26	継続
7	学校園の規模・配置の適正化については、保護者・地域の意向にも十分配慮しながらも、迅速に進めること。	H27/R1	継続
8	通学に係る交通手段の確保を図られたい。	R1	継続
9	学校給食においては、安心・安全を図ること。また、学校給食の無償化に向け、検討を進めること。	H25 /H28	継続
10	現行の給食費では、十分な栄養バランスが保てないことから、給食費見直しなどで、子供たちに充実した美味しい給食を提供すること。	R3	新規
11	保護者負担の軽減、教育環境の整備を図ること。		継続
12	子どもの将来に影響を与えるような「ほんもの」に触れ合い、夢と感動を体験できる機会づくりに努めること。	H25	継続
13	「虐待」「いじめ」「不登校」などの防止・早期発見と問題解決に向け、学校だけでなく保護者・地域・警察などと連携を強化すること。	H24	継続
14	三田市子育て世帯の経済状況と生活実態に関する調査を踏まえ、貧困実態の分析と対策を講じること。	H30 /R1	継続
15	GIGAスクールの導入にあたり、タブレットパソコンの使用方法の確立とネット環境などによる社会的格差を出さないこと。	R2/R3	強化
16	これからのICT社会に向けた教育体制の確立と人材の育成	R2	継続
17	施設設備の整備促進	R2	継続
18	幼小中学校の再編については、三田市全体の課題として市民と共有し、地域の活性化対策について地域住民と十分協議をすること。	R3	新規
19	SDGsを環境基本教育の柱に据え、持続ある地域社会・経済活動などについて環境の大切さをしっかり教えること。	R3	新規

## 消防本部

番号	内容	提案年度	種別
1	消防職員の計画的な採用に努め、実質定数を満たすよう努力すること。	R1	継続
2	自主防災組織の結成やその育成に努力してほしい。		継続
3	消防団の災害時対応については、何よりも団員の安全に十分配慮すること。		継続
4	中高層建築物火災時に出動可能な要員の確保と急増する救急業務、並びに大規模災害時に対応できる出動体制の増強を図りたい。		継続
5	女性の消防士・救急救命士の配置を促進すること。	H28 /R1	継続

## 市民病院

番号	内容	提案年度	種別
1	来る急激な高齢化を鑑み、健康と命を守る高度で総合的な医療機関として、機能の充実を図ること。	H27	継続
2	医師・看護師の確保を継続的に行い、病院機能の維持向上に努めるとともに、医療スタッフと患者との信頼関係向上に努めること。		継続
3	医療事故の撲滅と医療技術の向上に努めること。		継続
4	時間外勤務の縮小等、医師看護師の就労環境の整備充実に努めること。		継続
5	地域の医療機関と連携し、そのリーダーとして、地域医療の充実を図ること。	H24	継続
6	診療費の未収の縮減に努めること。	H23	継続